

会 報

平成13年度第4回日本公衆衛生学会理事会議事録

1. 日 時 平成14年1月30日(水)13:00~16:45
2. 場 所 東京厚生年金会館
3. 出席者 理事長 多田羅浩三
 学会長 北川定謙
 理 事 相澤好治 阿彦忠之
 岩尾總一郎 小倉敬一
 金川克子 木根洵英雄
 小林廉毅 小林秀資
 近藤健文 伊達ちぐさ
 田中平三 角田文男
 鳥山 皓 中川秀昭
 二塚 信 松田 朗
 三浦宜彦 宮武光吉(20名)

監 事 平山朝子 (1名)

委任状提出者

副会長 山崎寛一郎 井上晶子
 柿沼トミ子
 理 事 後藤 武 芝池伸彰
 嶋本 喬 能勢隆之
 監 事 古市圭治

オブザーバー

前学会長 實成文彦 (香川医科大学人間環境医学講座衛生学公衆衛生学教授)
 次期学会長 中原俊隆 (京都大学医学部公衆衛生学教授)
 小川久男 (埼玉県健康福祉部健康福祉政策課主幹)
 坂井義彦 (埼玉県健康福祉部健康福祉政策課主幹)

現在理事数27人,出席者20人,委任状提出者7人,学会規定第13条第1項による定数に達していることを確認の後,多田羅浩三理事長が議長となり開会を宣した。議事に先立ち多田羅理事長から挨拶があった。

議事録署名人の選出

議事録署名人に金川克子,小倉敬一両理事が指名された。

議 事

第1号議案 第60回(平成13年度)日本公衆衛生学会総会について

實成文彦前学会長から資料に基づき,第60回日本公衆衛生学会総会について説明があった。(報告の詳細は第60回日本公衆衛生学会総会(香川)のまとめを参照のこと)

今回の総会は従来の催しの他に60回学会総会記念ブースおよび関連イベント,ハンセン病フォーラム,健やか高松21健康展・トーク&トーク 健康日本21展が開催された。学会の参加者に関連行事,一般市民の参加者をあわせると,延べ7,000人を越える。決算報告については,機関誌へ掲載する。

以上により,本議案は了承された。

第2号議案 第61回(平成14年度)日本公衆衛生学会総会について

北川定謙学会長から資料に基づき,第61回日本公衆衛生学会総会について,特にプログラムの内容について検討中のものも含めて詳細な説明があった。

埼玉県の強力な協力のもとに準備を進めている。分科会は示説を中心に行うが,口演はミニシンポジウムとし指定課題と公募課題に分けて行う。分科会構成に「公衆衛生と福祉」を追加する。また,市民参加の公開講座も計画している。今回は第一線で公衆衛生活動に従事する専門職の人を対象に調査研究の進め方,研究成果のまとめ方,論文の作成方法を学習するワークショップを計画している。また日中学術フォーラムを開催する予定である。

三浦宜彦理事から今回は演題の申込をインターネットを使ってユーミンで受け付けるが,機関誌の2月号にそれについての案内を出し,3月から試行できるようにする予定である旨説明があった。

以上により,本議案は了承された。

第3号議案 第62回(平成15年度)日本公衆衛生学会総会について

中原俊隆次期学会長から第62回日本公衆衛生学会総会について説明があった。

開催時期は10月22日から24日,会場は国立京都国際会館で開催予定である。初日が時代祭と重なるため,それに対応したプログラムを検討する予定である。

以上により、本議案は了承された。

第4号議案 第63回(平成16年度)日本公衆衛生学会総会について

多田羅理事長から第63回(平成16年度)日本公衆衛生学会総会学会会長候補の選定について説明があり、今後の対応については理事長に一任することとした。

以上により、本議案は了承された。

第5号議案 第11回役員選挙について

北川委員長から、第11回役員選挙について説明があった。

昨年12月13日に第1回選挙管理委員会を開催した。委員長には学会会長である北川理事が選出され、登録票および機関誌掲載の内容について検討した。登録票は48巻12号に挿入し、登録の締め切りは2月28日とした。次回の選挙管理委員会は3月25日の予定である。また、職能区分など、役員選出に関する規定の問題点について討議した旨、報告があった。

多田羅理事長から、第11回役員選挙は従来どおり行うことを確認し、今後の対応については理事長に一任することとした。

以上により、本議案は了承された。

第6号議案 奨励賞について

北川委員長から資料に基づき、平成14年度の奨励賞について説明があった。

選考委員は、例年の委員構成に基づき、委員長は北川学会会長、委員は中原次期学会会長、芝池伸彰理事、相澤好治理事、小倉敬一理事、近藤健文理事、金川克子理事により構成したい旨提案があった。

また、實成前学会会長から前回の奨励賞選考の際、候補者により提出する業績リストがまちまちなので、推薦理由と関連の深い業績リストと過去5年間の公衆衛生に関する論文等の参考資料に分けて提出してもらってはどうかとの提案があり、表現方法について検討のうえ機関誌49巻2号に奨励賞の会告を掲載することとした。

以上により、本議案は了承された。

第7号議案 その他

1. 三浦理事から第26回医学会総会からのホームページのリンクと広報協力のお願いについて説明があり、検討した結果、原則としては了解するが広報協力については分量について確認することと

した。

2. 多田羅理事長から医師の卒後臨床研修の現在の状況について説明があった。本学会としても積極的に取り組む必要があり、今後理事長、公衆衛生人材委員会を中心に検討対応することとした。

報告事項

1. 委員会報告

1) 編集委員会

小林廉毅理事から、新たに査読委員を20名増員することに伴い、投稿規定の改定と先日の編集委員会で検討された新査読委員(案)が紹介された。新査読委員の任期は平成14年2月1日から平成15年3月31日とする。また、最近非会員が共著者になることについて要望がきているが、検討した結果、従来どおり著者、共著者とも学会員とすることを確認した。

2) 公衆衛生人材委員会

二塚 信委員長から昨日開催の委員会の報告があった。中間報告については評議員に送付することとし、中間報告の抜粋を、機関誌に掲載の予定である。今後の課題としては、医師以外の職種(特に管理栄養士、保健婦等)の人材養成、現場での人材確保、資質の向上など現任教育について検討することとした。

3) 地域保健委員会

阿彦忠之委員長から以下のような報告があった。

(1) 重要と思われる報告書のレビューと公衆衛生学会と保健所の関係をつけくわえ、報告書として3月中にまとめた。

(2) 健やか親子21については、地域保健委員会で対応することとした。

(3) 精神保健の問題については保健所の若手と精神保健相談所からメンバーを選びたい。

4) 感染症対策委員会

角田文男委員長から以下のような報告があった。

(1) 現在行っているアンケート調査は592保健所に送付したが1月30日現在で416の回答があった。

(2) 厚生科学審議会感染症分科会結核部会からワーキンググループ結核対策見直し検討状況(案)に関する意見を求められたが、時間的余裕がなかったため、委員に意見を求めそれを委員長が集約して意見を提出した。

5) 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

金川委員長からアンケート調査について報告があった。大学、養成機関、短大の118校にアンケートを送付し99校から回答があり、84%の回収率である。現在集計しており、次回委員会は2月15日開催の予定である。

6) 会誌検討委員会

近藤委員長から以下のとおり報告があった。

- (1) 学会のホームページは、日本公衆衛生協会のホームページを利用しているため、今後、現在のホームページを充実させることはできるが、会員管理まで拡大することは困難である。編集事務の電子化を進める上で、とりあえず、編集委員長、副委員長、事務局で専用のコンピューターとソフトを購入したい。
- (2) 名簿は1月15日に発行した。掲載を拒否した会員は約40名であった。今後正誤表を作成する予定である。
- (3) 公衆衛生学雑誌(昭和21年~25年)は今後の資料とするため、CD-ROM化する。

以上の報告は了承され、ホームページについては4月以降日本公衆衛生協会の体制が整ってから、改めて検討するが、会員の協力で積極的に立ち上げたほうがよいとの意見がだされた。

7) 学会総会60回記念事業委員会

北川委員長から第1回の座談会に引き続き、12月18日に大谷藤郎先生をお迎えして第2回座談会を行った旨報告があった。

2. その他

- 1) 北川理事から名誉会員の金子義徳先生は平成13年12月27日にご逝去なされた旨報告があった。また、来年度の名誉会員の候補者について広く推薦してほしいとの依頼があった。
- 2) 相澤理事から日本学術会議のノーベル賞100周年記念フォーラムの周知と参加についてお知らせと第19期学術会議会員の団体登録について2月8日に説明会がある旨報告があり、今回も団体登録することを確認した。
- 3) 小林(廉)理事から1月16日開催の学会教育委員会協議会の報告があった。
- 4) 近藤理事から中富健康科学振興財団の顕彰について当学会から推薦していた青木國雄先生が顕彰されること、また日本公衆衛生協会主催の生活習慣病予防週間シンポジウムのお知らせを関東近隣の評議員に郵送した旨報告があった。

5) 宮武理事から平成12年度の収支計算書の訂正について報告があった。

6) 次回理事会は、4月23日(火)13時より都道府県会館において開催する。

以上で議事を終了し、多田羅理事長が閉会を宣した。

地域保健委員会 (平成13年度第4回委員会)

日 時：平成14年1月11日(金)13:30~17:00

場 所：日本公衆衛生協会3階会議室

出 席：阿彦忠之(委員長)、岡田尚久、藤内修二、中村好一、松田 朗、山崎紀美

1. 「保健所再編の現状と今後の組織・機能のあり方」に関する報告書について

これについては、年度内に当委員会の報告書として公表することをめざし、最終的な検討を行った。前回の検討結果を踏まえて編集した報告書(案)をもとに、修正・追加の作業を行った。保健所の組織や機能については、全国規模の調査研究がいくつか行われているものの、それらの報告書の送付先は保健所であり、大学等に所属する本学会会員はその存在すら知らないと思われる。そこで、最近の厚生科学研究等の報告書5件を選び、その概要を報告書に掲載することにした。また、保健所関係者の本学会総会における発表演題は多いものの、学会雑誌への論文掲載数は極めて少ないという実態が指摘された。これに関して中村委員より、第61回総会(さいたま市)では、保健所等における公衆衛生活動の実践に関する論文投稿を促すことを目的とした企画が予定されているという情報提供があり、このような企画への積極的な参加と継続に関する提案を報告書に盛り込むこととした。

2. 「健やか親子21」の推進に係る当学会の行動計画について

健やか親子推進協議会(事務局は厚生労働省母子保健課)には、本学会も構成団体として参加している。この構成団体としての行動計画の検討を、当委員会が担当することとなった。当面の計画は、第60回総会の実績及び第61回総会の企画内容(総会会場における保育室設置やミニシンポジウム開催等)を基本とすることで合意が得られた。

3. 地域精神保健福祉の移行期プログラムの検討について

この件については、前回の委員会で問題提起があり今回から検討する予定であった。しかし、全国保健所長会のメンバーが現在、平成13年度地域保健総合推進事業として同様のテーマの研究を進めていることなどを踏まえ、平成14年度に検討することとした。

感染症対策委員会 (平成13年度第3回)

日時 平成13年11月12日

場所 日本公衆衛生協会3階会議室

出席者 角田委員長 加藤 芝池 佐藤 角野
稲葉 岡野 佐野 小林 山口(書記)

前回検討した保健所長用のアンケートについて、それぞれ担当から案が出されたが、全体的に見て調整を行い、その案の採択と重複部分を削除することとした。

12月に前回委員会の議事録をジャーナルに掲載することとしている。

今後の予定はアンケート最終案を角野先生が12月3日までにまとめるために、各担当が質問表の修正したものを提出し、年内発送、1月中旬しめきり、その後集計し、次回の会議は集計後とする。

会誌検討委員会記録

日時：平成13年12月4日(火)1時半～3時半

場所：カボニー産業会議室

出席者：近藤、相澤、宮武、三浦の各理事

1. 電子化について

ホームページ

現在日本公衆衛生協会のホームページを利用して学会のホームページとしているが、学会のホームページを独立することの可能性について検討し

た。学会単独のホームページ設置は費用の面から難しく、日本公衆衛生協会と相談した結果、現在のホームページの内容を充実させることはできるが、会員管理等まで拡大することは困難である。

会員管理

会員管理のコンピューターを買い換える時期にはきているが、電子化を進めホームページから会員管理ができるようにした場合でも入会手続をする際の役員の署名をどのようにするか、自分で住所変更できようとした場合のセキュリティの問題等がある。

編集事務

三浦理事から編集事務を電子化することは投稿から掲載までの期間を短縮するためにも必要であるが、投稿者、査読委員、編集委員のそれぞれの状況があるので、とりあえず、編集委員長、副委員長、事務局が編集専用のコンピューターとソフトを購入し、編集事務をすすめてみたいとの申し出があり検討した結果、備品購入費から支出できないか理事会に諮ることとした。

本格的な電子化については、埼玉の学会総会(アンケートを含む)の結果をみてから検討することとした。

2. 名簿の作成について

1月15日発行をめざして作成中である。

本来の目的以外に使用することをさけるため、名簿のはじめのページに、「取り扱いには十分注意してほしい」と記載することとした。

3. 公衆衛生学雑誌のCD-ROM化について

日本大学の公衆衛生学教室に公衆衛生学雑誌の第1巻1号から保存されていることがわかったので、今後の資料とするためにも、CD-ROM化する方向で考える。

昭和48年以降の日本公衆衛生雑誌のCD-ROM化についても、理事会の承認を得た上、日本公衆衛生協会と相談してその可能性を検討していくこととした。